

取扱説明書 保証書

DIGNO[®] W

目次

ご利用の準備

基本操作

注意事項

付録
保証書

P.1

いつでも
きれいに

P.2

騒がしい場所でも
通話らくらく

P.4

アラームで
時間どおりに

DIGNO[®] W を使いこなす

P.6

撮った**写真**を
活用しよう

P.8

画面を汚さずに
レシピを閲覧

P.10

お出かけ前の
電池対策

いつでも

きれいに

DIGNO® Wは家庭用泡タイプのハンドソープ／ボディソープで洗うことができます。

泡ハンドソープ／
泡ボディソープで
洗えます！



泡ハンドソープ／泡ボディソープでの洗いかたや注意事項については、「洗浄のしかた」(▶P.81)をご参照ください。

こんなときに

汚れたままの手で
触ってしまった

指紋や汗が
気になる

騒がしい場所でも

通話らくらく

「スマートソニックレシーバー」は、
ディスプレイを振動させて音を伝えます。
耳を覆うようにディスプレイ部を当てることで
周囲の騒音を遮へいし、
音声聞き取りやすくなります。

こんな場所での通話に



※街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう

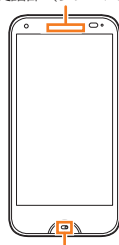


耳への当てかた

受話部（レシーバー）付近を耳に当て、耳を覆うようにしてください。

聞こえかたや周囲の環境に合わせて、DIGNO® Wの位置を上下左右に動かし、調整してください。

受話部（レシーバー）



送話口（マイク）

memo

聞き取りやすさには個人差があります。

アラームで

時間どおりに

「時計」アプリでは、生活パターンに合わせて複数のアラームを設定できます。

お好みで、音やバイブレーションを使い分けてください。

アラーム鳴動時に天気予報の読み上げを行うこともできます。

「時計」アプリの「アラーム」を 起動するには

ホーム画面→[アプリ一覧]→[デイリー]
→[時計]→「アラーム」タブをタップ

こんなときに

平日と休日で
目覚ましを
使い分けたい

毎日
決まった時間に
ストレッチ



「」をタップすると、
音や天気予報アラーム、
アラーム名などを設定できます。

「時計」アプリのほかの機能

タイマー

キッチンタイマーとして。
料理の時間が測れます。
濡れた手でも気にせずタッチ!

ストップウォッチ

ジョギングに携帯して。
ラップもとれるから、ペース配分の確認も
カンタン。

世界時計

海外旅行や海外出張のおともに。
現地時間も日本時間も両方確認できます。

撮った写真を

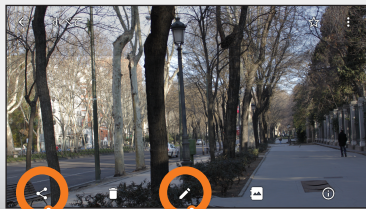
活用しよう

せっかく撮った写真が埋もれていませんか？

壁紙に貼り付けて気分転換、顔写真は切り抜いて連絡先のプロフィール写真に。
撮った写真をEメールに添付して送信したり、SNSへアップしたりしてみましょう。

「ギャラリー」で表示した 写真をタップすると

ホーム画面→[アプリ一覧]→[写真／動画]
→[ギャラリー]と操作し、写真を表示して
画面をタップ



編集

エフェクト
色調
トリム
ペイント

共有

メールに添付
SNSなどに
アップ



カメラの撮影画面から ギャラリーをすぐに起動できます

撮影画面のサムネイルをタップすると、今撮った写真が
ギャラリーの表示画面で表示されます。

写真や動画を共有する

- ① ギャラリーの表示画面で[共有] (共有) → 共有するアプリを選択して相手に送ります。
- ② SNSアカウントを登録しておく、SNSを起動してから写真や動画をアップできます。

memo

SNSにアップするときは、公開範囲を確認・設定しましょう。信頼できる親しい人だけに公開するほうが安心です。

画面を汚さずに レシピを閲覧

「クックビュー」なら手に粉や調味料がついていても大丈夫。
「クックビュー」を起動してレシピ検索して「🍲」をタップすると、
レシピを見ながら画面をさわらずに料理ができます。

また、「クックビュー」を使用中は画面が暗くなりません。

- キッチンタイマーも使えます。途中で電話がかかってきても出られます。
- 手を動かす操作は3つだけ。センサーの上で、上下・左右・1秒かざす。

クックビューを開始するには

ホーム画面→[クックビュー]→レシピを検索→「🍲」
お買い上げ時は、クックビューの説明とジェスチャー
操作の練習画面が表示されます。

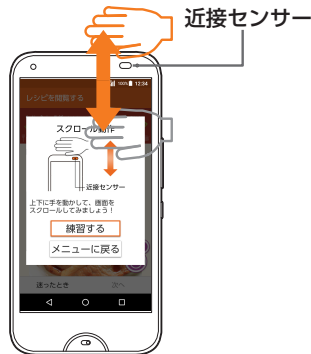


ジェスチャー操作は手が汚れていても本製品を触ることなく、ジェスチャーによってレシピを見たりキッチンタイマーを使ったりできる機能です。

近接センサー(▶P.18)に対して手を動かしたり、かざしたりすることで3種類のジェスチャーを行います。より良い結果を得るには、センサーから5cm程度の距離で、スムーズかつ一定の速度で動かしてください。

※近接センサーが汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかな布でセンサー部を乾拭きしてください。

※近接センサーの付近に壁や物体があると誤動作の原因となります。



上下方向

画面スクロールができます。



1秒かざす
(手を動かさない)

キッチンタイマーを出したり、隠したりできます。



左右方向

電話の応答や開始・終了ボタンを出したり、隠したりできます。

お出かけ前の 電池対策

無駄な電池消費をできるだけ抑えるには？

「エコモード」を利用して、スリープ時間や画面の明るさなどを設定することで電池の消耗を抑えます。電池残量少量時には、「データ通信」をOFFにして電話だけつながる状態にすると待受時間をのばせます。

電池残量が気になるときは

ホーム画面→[アプリ一覧]→[ツール]→[エコモード]





エコモードの画面で
「」をタップして、
個別の設定を行います。

エコモードはカスタマイズできます

自動設定

- ・エコモードが起動する時間や電池残量の数値を設定します。

個別設定

- ・エコモード設定時に対象機能を個別にオフにしたり、最小値に設定します。

スリープ時間設定	画面が自動消灯するまでの時間を選択
画面の明るさ調整	画面の明るさを設定
画面の向きを固定	画面が自動回転するかどうかを設定
Wi-Fi OFF	Wi-Fi®のオン／オフを設定
Bluetooth OFF	Bluetooth®のオン／オフを設定
位置情報アクセスOFF	アプリが位置情報へアクセスしない設定
CPUクロック制限ON	CPUクロックの上昇を制限
データ通信OFF	データ通信の設定

ごあいさつ

このたびは、DIGNO® W(ディグノ ダブル)(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

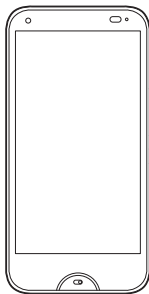
ご使用前に『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるようお手元大切に保管してください。最新の「取扱説明書」につきましては、UQ mobileホームページをご参照ください。

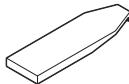
- URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- auが提供しているサービスはご利用になれませんので、あらかじめご了承ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



IC Cardトレイ
取り出し工具(試供品)

- 取扱説明書・保証書(本書)
- 洗浄のしかたシート
- クックビューご紹介シート



京セラTVアンテナケーブル04
(04KYHSA)

※ 京セラTVアンテナケーブル04(04KYHSA)は防水／防塵／耐衝撃性能を有しておりません。

周辺機器(オプション品)のご紹介

- ・ 共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)



memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

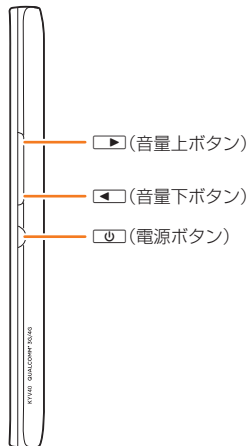
■『取扱説明書・保証書』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。

本書の表記方法について

■掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。





ナビゲーションバー(▶P.39)

■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を次のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[Wi-Fi]→[ON]にする	ホーム画面下部の[ (アプリ一覧)]をタップします。続けて「設定」をタップしたあとに「Wi-Fi」をタップして、最後に「OFF」をタップして「ON」にします。
スリープモード中に  (電源ボタン)	スリープモード中に  (電源ボタン)を押します。

- ・タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はUQ mobile Multi IC Card 01を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



memo

- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では本体カラー「ブルー」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では「UQ mobile Multi IC Card 01」の名称を「SIM」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリーカード(市販品)」および「microSDHC™メモリーカード(市販品)」、「microSDXC™メモリーカード」の名称を、「microSDメモリーカード(市販品)」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書の表記の金額は、特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

緊急警報を利用する

緊急警報アプリは、緊急速報メール(緊急地震速報)を利用することができるアプリです。

1 アプリ一覧→[サポート]→[緊急警報]

緊急警報メニューが表示されます。

目次

ごあいさつ	12
同梱品一覧	12
取扱説明書について	13
本書の表記方法について	13
緊急警報を利用する	15
目次	16
ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
SIMを取り付ける／取り外す	21
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す	24
充電する	26
電源を入れる／切る	27
初期設定を行う	28
UQモバイルポータルアプリ設定を行う	31
Eメールについて	33
Wi-Fi®を設定する	35
スタート画面について	36
基本操作	38
タッチパネルの使いかた	38
ナビゲーションバーの使いかた	39
文字を入力する	40
ホーム画面を利用する	44

ホーム画面を設定する	44
メニューを表示する	44
アプリを起動する	44
本製品の状態を知る	47
自分の電話番号を確認する	49
マナーモードを設定する	49
クックビューを利用する	50
機内モードを設定する	50
電話をかける	50
電話を受ける	51
連絡先を登録する	51
データのコピー／移動をする	52
カメラを利用する	53
ギャラリーでファイルを表示する	54
テレビを視聴する	54
おサイフケータイ®	56
機能設定	58
電池消費を軽減する	59
注意事項	60
本製品のご利用について	60
安全上のご注意(必ずお守りください)	62
取り扱い上のご注意	72
防水／防塵／耐衝撃性能、洗浄に関するご注意	78
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	86
各種暗証番号／PINコードについて	88
データ通信料についてのご注意	89
アプリケーションについて	90

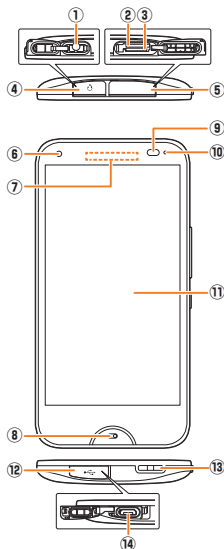
アプリの権限を設定する	90
マナーも携帯する	91

付録 92

ソフトウェアを更新する	92
故障とお考えになる前に	93
アフターサービスについて	94
主な仕様	96
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	97
FCC Notice	98
European RF Exposure Information	99
Declaration of Conformity	100
輸出管理規制	100
知的財産権について	100
License	102
OpenSSL License	103
おサイフケータイ [®] 対応サービスご利用上の注意	104

ご利用の準備

各部の名称と機能



① イヤホンマイク端子

イヤホン(市販品)などの接続時に使用します。

② microSDメモ리카ードスロット

③ SIM挿入口

④ イヤホンマイク端子カバー

⑤ カード挿入口カバー

⑥ インカメラ(レンズ部)

⑦ 受話部(レシーバー)

スマートソニックレシーバー(▶P.20)で通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。

⑧ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。

⑨ 近接センサー／光センサー

近接センサーはタッチパネルの誤動作を防いだり、手の動きを感知してクックビューで使います。また、光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑩ 着信(充電)ランプ

充電中は赤色で点灯します。
着信時には設定内容に従って点滅します。

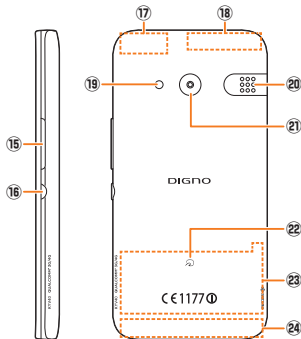
⑪ ディスプレイ(タッチパネル)

⑫ 外部接続端子カバー

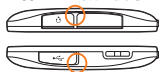
⑬ ストラップ取付口

⑭ 外部接続端子

共通ACアダプタO5(別売)などの接続時に使用します。



■各カバー類の開きかた



○部分に軽く爪をかけて開いてください。
奥まで爪を差し込むとバッキン部に傷を
付けてしまうためご注意ください。

15 ◀ ▶ 音量下／上ボタン

音量を調節します。◀ (音量下ボタン) を1秒以上長く
押すと「マナーモード」(▶ P.49)を設定できます。

16 電源ボタン

電源ON/OFFやスリープモードの移行／解除などに使用
します。

17 内蔵GPS／Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部*

18 内蔵サブアンテナ部*

19 撮影ライト／簡易ライト

20 スピーカー

着信音やアラーム音などが聞こえます。

21 アウトカメラ(レンズ部)

22 〇マーク

おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ラ
イターにかざしてください。

23 FeliCaアンテナ部*

24 内蔵メインアンテナ部*

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で
覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

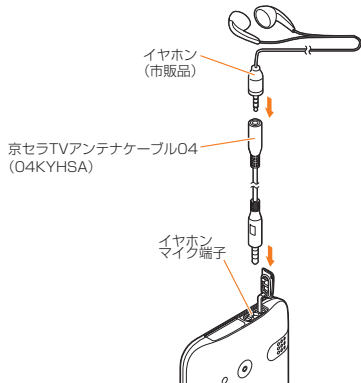


memo

- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面を無理に取り
外そうとすると、破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはで
きません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に
電源を切り再起動する」(▶ P.28)をご参照ください。

京セラTVアンテナケーブル04について

テレビ(ワンセグ)をご覧になるときは、付属の京セラTVアンテナケーブル04(04KYHSA)を使用してください。イヤホン(市販品)で音声を聞くときは、京セラTVアンテナケーブル04(04KYHSA)にイヤホン(市販品)を接続してください。スピーカーから音声を出力する場合は、京セラTVアンテナケーブル04(04KYHSA)のみ接続してください。



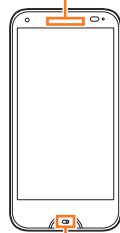
スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

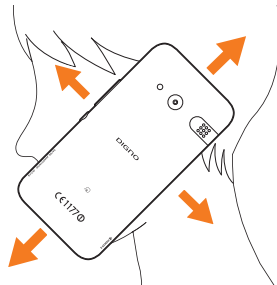
■ 耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮へいし、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

受話部 (レシーバー)



送話口(マイク)



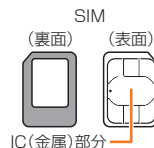
memo

- ◎ 通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
- ◎ イヤホン(市販品)を接続している場合は、スマートソニックスピーカーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- ◎ ディスプレイにシールやシート類などを貼らないください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- ◎ 聞き取りやすさには個人差があります。
- ◎ 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

SIMを取り付ける／取り外す

SIMにはお客様の電話番号などが記録されています。

本製品はUQ mobile Multi IC Card 01に対応しております。



memo

- ◎ SIMを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ SIMのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け／取り外しはしないでください。
- ◎ SIMを正しく取り付けしていない場合やSIMに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したSIMはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたSIMを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ SIMが挿入されていない場合

SIMが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「」が表示されます。

- 電話をかける*／受ける
- メール(CosmoSia)の初期設定および送受信
- PINコード設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、GSM/UMTS/LTEローミング中で電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。

■ PINコードによる制限設定

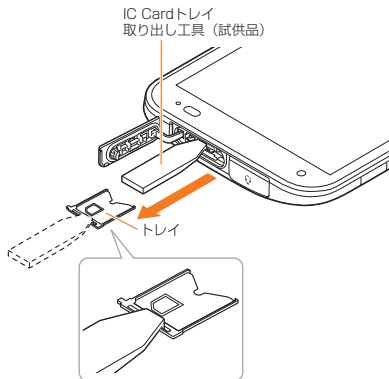
SIMをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.88「PINコードについて」)。

SIMを取り付ける

- SIMを取り付けるときは、必ず付属のIC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

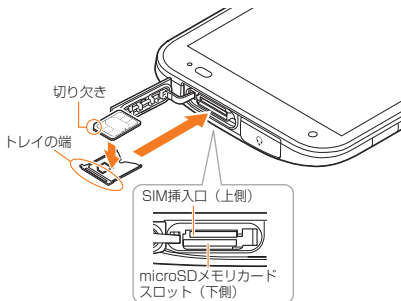
2 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



3 SIMの切り欠きの位置を合わせてトレイに載せ、トレイをSIM挿入口(上側)にまっすぐに挿入する

トレイを本体に挿入後、IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけて奥まで押し込んでください。

- IC(金属)部分を上にしてください。
- SIMはトレイの端に乗り上げないように、無理な力を加えずにまっすぐ奥まで押し込んでください。トレイがうまく入らない場合は無理に押し込まず、一度抜いてから先端を少し浮かせて再度入れ直してください。トレイに乗り上げるとSIMを認識しません。



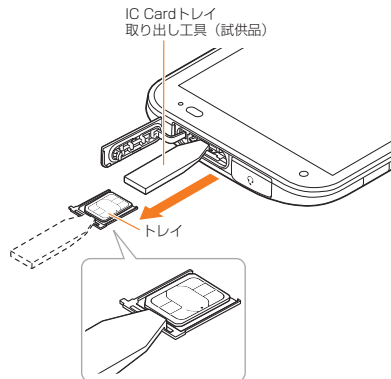
4 カード挿入口カバーを閉じる

SIMを取り外す

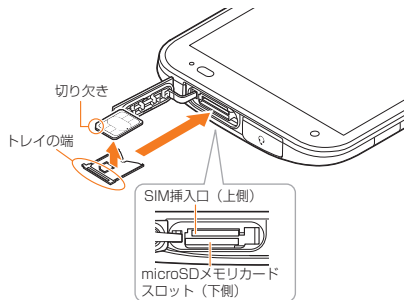
- SIMを取り外すときは、必ず付属のIC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

2 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



3 SIMを取り出し、トレイをSIM挿入口(上側)に まっすぐに挿入する



4 カード挿入口カバーを閉じる

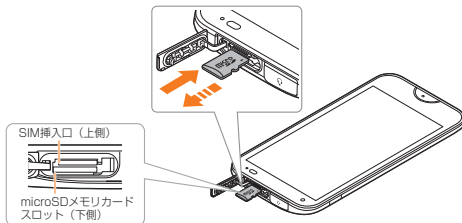
microSDメモリカードを取り付け る／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 本製品のカード挿入口カバーを開ける

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、 カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し 込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることを
ご確認ください。また、ロックされる前に指を離すと
microSDメモリカードが飛び出す可能性があります。
ご注意ください。



3 カード挿入口カバーを閉じる



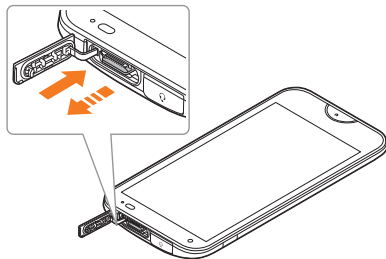
memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別がありま
す。無理に入れようとする则取り外せなくなったり、破損
するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

- 1 アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]→SDカードの「▲」をタップ
- 2 本製品のカード挿入口カバーを開ける
- 3 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



4 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

5 カード挿入口カバーを閉じる



memo

- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ◎ microSDメモリカードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。



memo

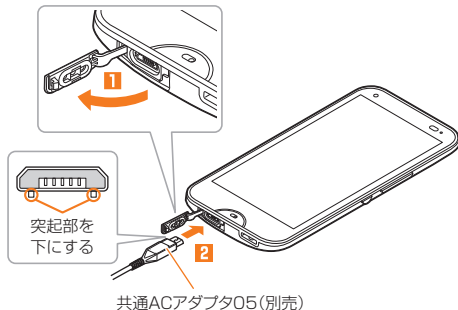
- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、UQお客様サポートセンターまたは端末故障受付センターまでご連絡ください。
- ◎ 充電中に「100%」が表示された後でも、すぐに充電ランプが緑色に点灯しないことがあります。間もなくランプの色が緑色に変わり充電完了となります。
- ◎ 接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

ACアダプタを使って充電する

共通ACアダプタ05(0501PWV) (別売)を接続して充電する方法を説明します。

周辺機器はUQコミュニケーションズのホームページからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。

- 1 本製品の外部接続端子カバーを開ける**
- 2 共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む**

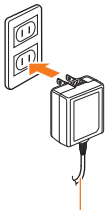


共通ACアダプタ05(別売)

3 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「**B**」が表示されます。

充電が完了すると、充電ランプが緑色に変わります。



共通ACアダプタ05(別売)

4 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで (電源ボタン) を長く押す

スタート画面が表示されます(▶P.36)。

- ・ 初めて電源を入れたときは、初期設定が起動します(▶P.28)。

memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 画面の点灯中に  (電源ボタン) を押すか、一定時間操作しないで画面が消灯すると、スリープモードに移行します。

電源を切る

- 1  (電源ボタン) を1秒以上長く押す
- 2 [電源を切る]→[OK]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

- 1  (電源ボタン) と  (音量上ボタン) を同時に11秒以上長く押す



- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って言語やWi-Fi®、Googleアカウントなどの設定を行ってください。

■ Googleアカウントの設定について

Googleアカウントの設定を行うと、「Gmail」、「Playストア」、「Duo」などのGoogle社のアプリを利用できます。主な設定項目は次の通りです(次の項目以外にお客様の「姓」と「名」の登録が必要となります)。

ユーザー名	お客様のGoogleアカウント(ユーザーID)、および、メールアドレスとなる任意の文字列を登録します。お好きなユーザー名を登録できますが、他のユーザーと重複するユーザー名は設定できません。
パスワード	Googleアカウントを利用する際のパスワードを登録します。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[始める]→[新規としてセットアップ]

- ・ 「日本語(日本)」をタップすると、使用できる言語を変更できます。
- ・ 別の端末からのデータを引き継ぐ場合は、「アプリとデータを保持」を選択し画面の指示に従って操作してください。



2 必要に応じて、接続するWi-Fi®ネットワークの設定を行う→[または新しいアカウントを作成]

- Wi-Fi®を設定しない場合は[セットアップ時にモバイルネットワークを使用する]→[続行]と操作します。
- [セットアップ時にネットワークを使用しない]→[続行]と操作すると、手順6のGoogleサービス画面に進みます。以降は画面の指示に従って操作してください。
- Googleアカウントをお持ちの場合は、メールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]と操作し、画面の指示に従って設定してください。



3 お客様の「姓」、「名」を入力→[次へ]→お客様の生年月日と性別を入力→[次へ]→任意のユーザー名を入力→[次へ]

ユーザー名の登録確認が開始されます。



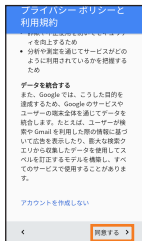
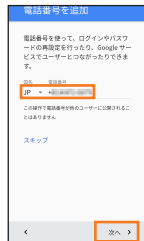
4 パスワードを入力→確認用にパスワードを再入力→[次へ]



5 国名、電話番号を確認／変更→[次へ]※→[確認]→内容を確認し、[同意する]

- 電話番号を設定しない場合は「スキップ」をタップします。

※設定した電話番号に、Google確認コードが書かれたテキストメッセージが送信されます。



6 内容を確認し、[次へ]→Googleサービスの設定を確認し、[次へ]



7 保護方法を選択→画面の指示に従ってセキュリティと通知を設定→必要に応じて、その他の設定項目の設定を行う

- 画面ロックを設定しない場合は、[後で行う]→[スキップ]と操作してください。
- その他の項目を設定しない場合は、「後でセットアップ」をタップします。



※「auの決済を利用」はご利用いただけません。

8 チェックを付けて、[次へ]

- ・ 設定しない場合は、そのまま「次へ」をタップします。



UQモバイルポータルアプリ設定を行う

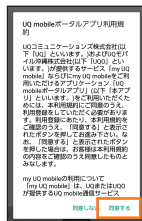
ご利用には、my UQ mobile IDとパスワードが必要です。初期値は次のとおりです。

my UQ mobile ID: UQ moibleお申し込み受け付け時に発行された「受付番号」

パスワード: お申し込み手続き時に入力した「暗証番号」

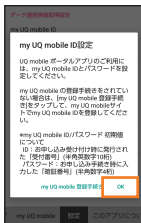
- ・ ここでは「my UQ mobile ID」と「パスワード」が初期値の場合の操作手順を説明します。

1 ホーム画面→[アプリ一覧]→[サポート]→[ポータルアプリ]→[同意する]



2 [OK]

「my UQ mobile ID」およびパスワードを変更する場合は、「my UQ mobile登録手続き」を選択します。



3 my UQ mobile IDを入力→[OK]



4 パスワードを入力→[OK]



5 「データ通信」タブをタップ

データ残量の確認およびターボ機能の切り替えが行えます。



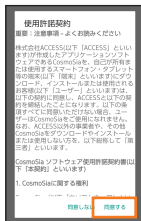
Eメールについて

メールの送受信ができるサービスです。絵文字対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。Eメールサービスは、有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳細はUQお客様サポートセンターまたはUQコミュニケーションズのホームページをご確認ください

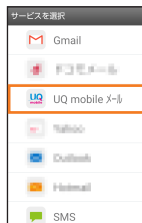
初期設定を行う

1 ホーム画面→[CosmoSia]→[同意する]

使用許諾契約が表示されますので、「同意する」をタップします。



2 [UQ mobile メール]



3 メールサーバ(MMS)との通信を開始します



- 4** 通信が完了すると、お客様情報が表示されます
メール設定画面を閉じるには、「<」をタップします。



- 5** これでMMSがご利用可能になりました
SMSのアカウントも自動で生成されます。



Eメールアドレスを変更する

- 1** ホーム画面→[CosmoSia]→[!]



- 2** メニューから「メール設定画面」をタップ



3 メールアドレスの変更や、迷惑メールフィルター設定等はここから行います。

メール設定画面を閉じるには、「」をタップします。



Wi-Fi®を設定する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]

2 [Wi-Fi]→[ON]にする

利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

3 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)を入力し、「接続」をタップします。

■ WPS方式のアクセスポイントを利用する場合

1 Wi-Fi® ネットワーク一覧画面→[]→[詳細設定]

2 [WPSプッシュボタン]／[WPS PIN入力]

- WPSボタン方式の場合は、アクセスポイントのWPSボタンを押し続けてアクセスポイントをWPSモードに設定すると、自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
- WPS PIN入力方式の場合は、表示されたPINコードをアクセスポイントに入力すると、登録が開始されます。

- ◎無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにした場合、電池の消費が大きくなります。無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用していないときは、オフにすることをおすすめします。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 「」をスライド／フリック

ホーム画面が表示されます(▶P.44)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

- 画面下部に表示された／をスライド／フリックすると、電話(▶P.50)／カメラ(▶P.53)を起動できます。



《スタート画面》

① 時計表示

② 通知表示

- 通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

③ スタートアイコン

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に  (電源ボタン) を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に (電源ボタン)



memo

- ◎ スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ]と操作して、時間を選択します。
- ◎ スリープモード中に  (電源ボタン) を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

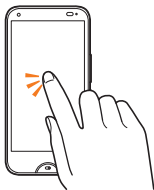
基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

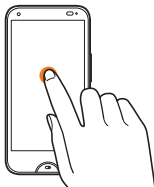
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



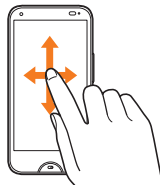
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



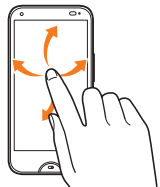
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



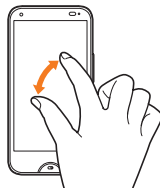
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



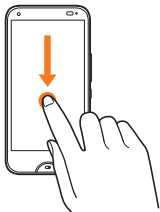
■ ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



memo

◎手袋を装着した状態でのタッチ操作が可能です。手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。

- ・手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
- ・素手でタッチ操作した後に手袋を装着してタッチ操作ができない場合は、本製品を一度スリープモードに移行してから、スリープモードを解除してください。
- ・指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。

ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のボタンが表示されます。



- ◀: 1つ前の画面に戻ります。文字入力画面で「」が表示された場合は、タップするとキーボードやメニューを非表示にします。
- : ホーム画面を表示します。ロングタッチすると、Google(Google Now)を起動できます。
- : 最近使用したアプリの一覧を表示します。アプリ起動中にロングタッチするとマルチウィンドウを起動できます。マルチウィンドウ起動中は「」に変わり、ロングタッチするとマルチウィンドウを終了します。

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

キーボードを切り替える

1 iWnn IMEメニュー→[キーボードタイプ切替]→[テンキーボード]／[QWERTYキーボード]／[50音キーボード]

キーボードが切り替わります。詳細は「テンキーボード／QWERTYキーボード／50音キーボードで入力する」(▶P.40)をご参照ください。



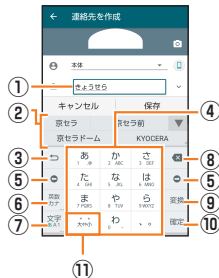
memo

◎ 文字入力画面(テンキーボード／QWERTYキーボード／50音順キーボード)で画面右下に表示されている「」をタップすると、「Google音声入力」と「日本語(通常のキーボード)」に切り替えられます。

テンキーボード／QWERTYキーボード／50音キーボードで入力する

■ 文字入力画面(テンキーボード)

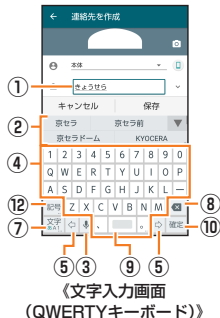
一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」(▶P.38)をご参照ください。



《文字入力画面
(テンキーボード)》

■ 文字入力画面 (QWERTYキー ボード)

一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。



■ 文字入力画面(50音 順キーボード)

50音順に文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。



① 文字入力エリア

② 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト

文字を入力して「変換」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。「予測変換」を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定すると、さらに入力が予想される候補も表示されます。

- 「▼」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「▲」をタップします。

③ バックボタン／戻すボタン

同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。

Undo: 文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

- テンキーボードで入力時に表示されます。テンキーボードで文字未入力時やQWERTYキーボード／50音順キーボードで「🔊」をタップすると、音声入力ができます。

④ ソフトウェアキーボード

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ カーソルボタン

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

⑥ 絵文字・記号・顔文字ボタン／英数・カナボタン※

: 絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。ロングタッチすると、引用入力(マッシュルーム)を利用できます。

: 入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

※操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

⑦ 文字種切替ボタン／設定ボタン※

入力する文字種を切り替えたり、iWnn IMEメニューを表示します。

タップするたびに、表示が次のように変更されます。

: ひらがな漢字入力

: 半角英字入力

: 半角数字入力

- ・テンキーボードで文字種切り替えボタンを右にスライドしても、ひらがな漢字／半角英数／半角数字／音声入りに切り替えます。
- ・iWnn IMEメニューの「入力モード切替」では、カタカナや全角文字など他の文字種に切り替えることもできます。

: 全角英字入力

: 全角数字入力

: 全角カタカナ入力

: 半角カタカナ入力

※操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

ロングタッチするとiWnn IMEメニューを表示します。

⑧ 削除ボタン

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

⑨ 変換ボタン／スペースボタン

: 通常変換候補リストを表示します。

- ・ひらがな入力中に表示されます。

: スペースを入力します。

- ・文字未入力時や数字／英字入力中などに表示されます。

⑩ 確定ボタン／Enterボタン

: 入力中の文字を確定します。

: カーソルの位置で改行します。

- ・アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ 大文字／小文字切替ボタン

ひらがな／カタカナ入力時に「」をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

英字入力時に「」をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

⑫ シフトボタン

タップするたびに、小文字入力／大文字入力ロック／大文字入力を切り替えます。

また、QWERTYキーボードで全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。



予測変換について

- ひらがな入力中に「変換」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「変換」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。
- 「日本語ワイルドカード予測」または「ワイルドカード予測」を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末または未確定の文字の右位置にあるとき、「○」(QWERTYキーボードでは「→」)をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「テンキーボード」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。キーをタップすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。



「あ」を
タップ



下に
フリック



文字を拡大表示する

メニュー項目などの文字を大きく表示することができます。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]
- 2 [ユーザー補助]→[表示サイズ]→インジケータでサイズを調整



- ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[ユーザー補助]→[拡大操作]と操作し、機能を「ON」にしても画面を拡大表示できます。操作方法は画面の説明をご確認ください。

ホーム画面を利用する

お買い上げ時のホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

- ① ステータスバー
- ② ショートカット／フォルダ
- ③ インジケータ
- ④ クイック起動エリア
- ⑤ アプリ一覧



ホーム画面を設定する

ホーム画面の各種表示を設定できます。

- 1 ホーム画面で背景をロングタッチ**
ホーム画面の設定画面が表示されます。

2	アプリ	ホーム画面にアプリを追加します。
	ウィジェット	ホーム画面にウィジェットを追加します。
	壁紙	ホーム画面の壁紙を変更します。
	設定	壁紙のスクロールを設定します。

- 3 各項目を設定**

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「」や「」、「」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

アプリを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧]**
アプリ一覧が表示されます。
- 2 起動するアプリをタップ**

■ アプリの一覧

アイコンの表示名	ページ
コミュニケーション	
電話 電話番号を入力したり、履歴を利用して電話をかけることができます。	P.50
CosmoSia メールの送受信ができるサービスです。	P.33
電話帳 電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。	P.51
写真／動画	
カメラ 静止画／動画を撮影できます。	P.53
ギャラリー 画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。	P.54
デイリー	
時計 アラーム、タイマー、ストップウォッチ、世界時計機能が利用できます。	P.4
天気 現在地や設定したエリアの天気情報を確認できます。	—
クックビュー 手が汚れていても、画面を触らずに手の動きで、料理のレシピを見ることができます。	P.50

アイコンの表示名	ページ
ツール	
電卓 電卓を利用できます。	—
メモ帳 Keepに接続されます。	—
音声レコーダー 音声レコーダーを利用できます。	—
エコモード 電池の消耗を最小値に抑えるように設定します。	P.59
ウルトラブルーライトカット お好みの強度でブルーライトカットフィルタを有効にすることができます。	—
おサイフケータイ 電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。	—
簡易ライト 簡易ライトを利用できます。	—
テレビ テレビ(ワンセグ)放送がご覧になれます。	P.54

アイコンの表示名	ページ
データ	
File Commander データの閲覧、コピー／移動などができます。	P.52
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	—
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	—
サポート	
京セラサイト 京セラサイトに接続します。	—
洗い方のご説明 本製品の洗いかたを説明したサイトへ接続されます。	—
緊急警報 緊急警報を利用できます。	P.15
ポータルアプリ UQのポータルアプリを起動します。	P.31
安心アクセスV お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるWebページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	—

アイコンの表示名	ページ
Google	
Google キーワードから本製品内やWebページを対象に検索できます。	—
Gmail Googleが提供するメールサービスです。	—
マップ 現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。	—
YouTube 動画の再生や、キーワード入力による動画検索などができます。	—
ドライブ Googleドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。	—
Play Music 音楽やプレイリストなどを再生できます。	—
Playムービー&TV Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を視聴したりできます。	—
Duo Googleのインスタントメッセージサービスです。	—
フォト 撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Google+™にバックアップすることができます。	—

アイコンの表示名	ページ
Google	
音声検索 Google音声検索を利用できます。	—
カレンダー カレンダーを利用できます。	—
Keep Googleが提供するメモアプリです。	—
Chrome Webページを閲覧できます。	—
Play ストア アプリを検索し、インストールできます。	—
設定 設定メニューから各種機能を設定、管理します。	P.58



- ◎各アプリからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎アイコンの表示名は、予告なく変更される場合があります。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり (CosmoSia)
	新着メールあり (Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中
	通話中または着信中
	UQ/auのVoLTE対応電話機との高音質通話時に表示
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信/アップロード
	データを受信/ダウンロード

アイコン	概要
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	VPN接続中
	ソフトウェア更新あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Wi-Fi®テザリングまたはBluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	スクリーンショット完了
	microSDメモ리카ードのマウント中

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態 100% / 残量なし / 充電中
	電波の強さ・通信状態(LTE/WiMAX 2+) レベル4 / 圏外 / 通信中 LTE/WiMAX 2+使用可能* / ローミング中(ネットワークに応じた通信方式も合わせて表示します)
	機内モード設定中
	SIM未挿入

アイコン	概要
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4 / レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード(バイブレーション)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	マナーモード(ドライブ)設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中 / 接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中 / 伝言メモ全件録音済み
	「おサイフケータイロック」設定中
	GPS利用中

※ 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、ON/OFF設定アイコンが表示され、よく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。



memo

- ◎ 通知パネルを上にもスライドすると、通知パネルを非表示にすることができます。
- ◎ 通知を消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。画面右下の「すべて消去」をタップすると、通知がすべて消去されます。ただし、消去できない通知もあります。

自分の電話番号を確認する

1 アプリ一覧→[設定]→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 ◀ (音量下ボタン) を1秒以上長く押す

- ・ マナーモードが設定／解除されます。

マナーモードの種別を変更する

1 マナーモード設定中に ◀ ▶ (音量下／上ボタン)

2 [バイブ]／[ミュート]／[ドライブ]

- ・ ◀ (音量下ボタン) を押すたびに種別が切り替わります。



《マナーモード設定中画面》

オートアシストについて

設定した時間になったときにマナーモードにしたり、イヤホンに接続したときに利用頻度が高いアプリを起動したりできます。

オートアシストを利用するには、ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[オートアシスト]と操作して、各項目を設定します。

クックビューを利用する

手が汚れていても、画面を触らずに手の動き（ジェスチャー操作）で、料理のレシピを見ることができます。

また、「クックビュー」使用中は画面が暗くなりません。

1 ホーム画面→[クックビュー]

クックビュー画面が表示されます。

- 操作画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

機内モードを設定する

機内モードをオンに設定すると、ワイヤレス機能（電話、データ通信、無線LAN（Wi-Fi[®]）機能、Bluetooth[®]機能）がすべてオフになります。

1 （電源ボタン）を1秒以上長く押す→[機内モード]

機内モードがオンに設定されると、ステータスバーに「」が表示されます。

- アプリ一覧→[設定]→[その他]→機内モードを「ON」にしても、機内モードをオンに設定できます。

電話をかける

1 ホーム画面→[電話]→「ダイヤルキー」タブをタップ

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 →通話→

通話中に（音量下／上ボタン）を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。



memo

- ◎ 発信中／通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- ◎ 送話口（マイク）を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- ◎ 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE (LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否や伝言メモ、ドライブモードを設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、設定は自動的に5分間解除されます。

電話を受ける

■ バックライト点灯中(スタート画面を除く)に着信した場合

1 着信画面→[電話に出る]

通話を開始します。

- ・スリープモード中やスタート画面表示中は着信画面で[📞]を右にスライドします。

2 通話→[🔴]

伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信画面→操作パネルをタップ

- ・「電話画面」が表示されている場合は、手順2へ進みます。

2 [⋮]→[伝言メモ応答]

連絡先を登録する

電話帳に連絡先の各種情報を登録します。

1 ホーム画面→[基本機能]→[電話帳]→[すべての連絡先]タブをタップ

2 [⊕]→必要な項目を入力→[保存]

データのコピー／移動をする

「File Commander」を利用してデータのコピー／移動などができます。

これまでお使いの携帯電話のデータをバックアップした microSD メモリカードから、データを移動することもできます。

1 アプリ一覧→[データ]→[File Commander]→[広告を表示しながら利用し続ける]

File Commander のホーム画面が表示されます。

- 初めて利用するときは、「利用許諾」の同意画面で内容を確認し、「続行」をタップしてください。
- File Commander のホーム画面が表示されない場合は、画面左上の「☰」をタップ→[ホーム]と操作します。

2 [写真]／[ミュージック]／[ビデオ]／[ドキュメント]／[ダウンロード]／[ごみ箱]／[お気に入り]／[PC ファイル転送]→フォルダを選択

3 コピー／移動するファイルをロングタッチ→ (コピー)／ (切り取り)]

4 コピー／移動先を表示→ (貼り付け)]

写真を microSD メモリカードに移動する

1 File Commander のホーム画面→[内部共有ストレージ]→[DCIM]

2 [100KYCRA]→写真データをロングタッチ→→[移動]

3 画面上部の「<」を数回タップして「SD カード」を選択

4 microSD メモリカード内の保存先を選択→[OK]

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。
撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ・動画を録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。

- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- ・撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

- ・位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

カメラを起動する

- 1 ホーム画面→[カメラ]
モニター画面が表示されます。

ギャラリーでファイルを表示する

ギャラリーは、内部ストレージ／microSDメモリーカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。

- 1 ホーム画面→[基本機能]→[ギャラリー]
 - ・操作説明が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。
- 2 データを選択
データが再生されます。



memo

◎ ギャラリーで表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

テレビを視聴する

テレビ(ワンセグ)は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

地上デジタルテレビ放送サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会

<http://www.apab.or.jp/>

テレビ利用時のご注意

- テレビの利用には、通話料やデータ通信料がかかります。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ画面表示中は、本製品が温くなり、長時間肌に触れたまま操作していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビを見ることができます。

1 アプリ一覧→[ツール]→[テレビ]

TVアンテナの説明が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [OK]→エリア(地方・都道府県・地域)を選択

スキャンされたチャンネル一覧が表示されます。

3 [OK]→[OK]

テレビを起動する

1 アプリ一覧→[ツール]→[テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。

おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー／ライター(店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置)にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」(▶P.104)をあわせてご参照ください。

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- ・ 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- ・ 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- ・ 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意の上管理をお願いいたします。

- ・ ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- ・ おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- ・ FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・ おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- ・ 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。

- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ[®]対応アプリからのFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ[®]がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ[®]対応アプリ起動中は、おサイフケータイ[®]によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 電波の届かない場所や海外利用時は、おサイフケータイ[®]の一部のサービスが利用できない可能性があります。リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。

おサイフケータイ[®]を設定する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→[おサイフケータイ設定]

おサイフケータイ設定画面が表示されます。

2	おサイフケータイロック	おサイフケータイ [®] 対応サービスの利用を制限できます。
	おサイフケータイロックNo.変更	「おサイフケータイロック」のロックNo.を変更します。 ・ ロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると変更できます。



memo

◎「おサイフケータイ」アプリの「」／「」をタップしてもおサイフケータイ設定画面を表示することができます。

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]

設定メニューが表示されます。

- 画面上部の「候補」欄に、よく利用する設定などの候補が表示されます。

機能設定メニュー項目一覧

プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi [®])機能を設定します。
Bluetooth	Bluetooth [®] 機能を設定します。
データ使用量	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。
その他	機内モードやVPN、テザリングなどの通信に関する設定を行います。
通話	通話時間の確認やお留守番サービスの設定など、通話に関する設定を行います。
ディスプレイ	フォントや壁紙、明るさ、スリープ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。

通知	アプリの通知についての設定を行います。
音	マナーモードやバイブレータ(振動)、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。
アプリ	ダウンロードしたアプリを確認したり、実行中のアプリに関する設定を行います。
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモ리카ードのメモリ容量の確認、microSDメモ리카ードの初期化を行います。
電池	電池残量や使用量を表示します。
エコモード	エコモードを設定します。
メモリ	本機にインストールされているアプリのメモリ使用状況を確認できます。
位置情報	無線LAN(Wi-Fi [®])機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。
セキュリティ	SIMカードロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。

言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。
バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定をしたり、データの初期化を行います。
日付と時刻	日付・時刻の設定や、時間表示の設定を行います。
オートアシスト	設定した時間になったときにマナーモードにしたり、イヤホンを接続したときに利用頻度が高いアプリを起動したりする設定を行います。
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスの設定を行います。
印刷	印刷に関する設定を行います。
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

電池消費を軽減する

「エコモード」を利用して、バックライトの消灯時間や画面の明るさなどをそれぞれ設定することで、電池の消耗を抑えます。電池残量少量時には、「データ通信」をOFFにして電話だけつながる状態にすると利用可能時間を長くすることができます。

1 アプリ一覧→[ツール]→[エコモード]→[ON]/[OFF]

- ・「」をタップすると、省電力にする項目の確認や変更ができます。

注意事項

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ・SIMを取り付ければ、本製品での通話、データの送受信が可能になります。本製品がネットワークに接続されない場合は、UQスポットまたはUQお客様サポートセンターにお問い合わせください。
- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください（ただし、LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- ・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用した接続はできません。
- ・本製品は国際ローミング対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。

- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的に通信事業者に送信いたします。
- ・海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。

- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元:UQコミュニケーションズ株式会社

UQモバイル沖縄株式会社

製造元:京セラ株式会社



memo

- ◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIM、京セラTVアンテナケーブル04、IC Cardトレイ 取り出し工具(試供品)、周辺機器共通

危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの
高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。
また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.78「防水／防塵／耐衝撃性能、洗浄に関するご注意」



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡
れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。

▶P.78「防水／防塵／耐衝撃性能、洗浄に関するご注意」



分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡
らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。

▶P.78「防水／防塵／耐衝撃性能、洗浄に関するご注意」



充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、
海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。

▶P.78「防水／防塵／耐衝撃性能、洗浄に関するご注意」



周辺機器は、UQコミュニケーションズ株式会社が指定
したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝
撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の
芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしな
いようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしな
いでください。

火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、
充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因とな
ります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(おサイフケータイロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜く。

- ・ 本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.78「防水／防塵／耐衝撃性能、洗浄に関するご注意」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



本製品内のSIMやmicroSDメモ리카ード挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIMやmicroSDメモ리카ードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



京セラTVアンテナケーブル04やストラップなどを
持って本製品を振り回さないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。
また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について▶P.71「材質一覧」



本製品のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



テレビ視聴時以外では京セラTVアンテナケーブル04を取り外してください。

京セラTVアンテナケーブル04を取り付けたままで通話などをすると、本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告



指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。

感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トランスコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIMについて

注意



SIMを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

■ 京セラTVアンテナケーブル04について

⚠ 警告



京セラTVアンテナケーブル04は防水機能を有しておりません。水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。

発熱・火災・感電・電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。

⚠ 注意



京セラTVアンテナケーブル04のプラグにゴミが付着しないようにご注意ください。
故障の原因となります。



京セラTVアンテナケーブル04のプラグは本体のイヤホンマイク端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
故障の原因となります。



京セラTVアンテナケーブル04の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.71「材質一覧」

■ IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)について

⚠ 警告



IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意



IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.71「材質一覧」



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

<材質一覧>

■ DIGNO® W本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装
フロントパネルカメラレンズ	PMMA樹脂	ハードコート処理
外装ケース(背面側)、カード挿入口カバー、音量上/下ボタン、イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、フロントリング	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
電源ボタン	アルミニウム	アルマイト処理
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
モバイルライト部	PMMA樹脂	-
ICカードトレイ	POM樹脂	-

■ 京セラTVアンテナケーブル04(O4KYHSA)

使用場所	使用材料	表面処理
プラグ部	銅合金	金メッキ処理(下地Niメッキ)
コード	TPO	-

■ IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	POM樹脂	-

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIM、京セラTVアンテナケーブル04、IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)／防塵性能(IP5X)を発揮するために、イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。

ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、周辺機器に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。

調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - 充電用機器
 - 周辺機器

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、-21℃～50℃であれば一時的な使用は可能です。)
 - 本製品本体
 - 本製品本体装着状態)

- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。

- 外部接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。

- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。

- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

- 改造された携帯電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク」が本製品本体内で確認できるようになっております。
ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]
本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- カメラのレンズやディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる(結露する)ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が結露しやすい環境について
以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやディスプレイの内側がくもる(結露する)場合があります。
・ 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
・ 寒い場所から屋内などの温かい場所に持ち込む
・ 湿度が高い環境で外部接続端子カバーなどを開閉する
- くもりを取る方法
高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でキャップ類(イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー)を開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーが汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかな布でセンサー部を乾拭きしてください。
- ジェスチャー操作使用中に、近接センサーの付近に壁や物体があると誤動作の原因となります。

- 通常はカード挿入口カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のSIMやmicroSDメモリカード挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口、スピーカ一部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について



Li-ion 00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。電池は内蔵型のため、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センターなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)やUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ SIMについて

- SIMの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、SIMを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- SIMにシールなどを貼らないでください。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ 京セラTVアンテナケーブル04について

- 京セラTV アンテナケーブル04は無料修理保証の対象外です。

■ IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)について

- IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)に無理な力がかからないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときには、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。
本製品のFCC IDはJOYDA03です。
また、以下の方法でも確認できます。
確認方法：
ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]

防水／防塵／耐衝撃性能、洗浄に関するご注意

本製品はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーが完全に装着された状態でIPX5^{*1}相当、IPX8^{*2}相当の防水性能およびIP5X^{*3}相当の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。また、家庭用泡タイプのハンドソープ／ボディソープ^{*4}を使った指定の洗浄方法で洗浄することが可能です(当社試験方法による)。

MIL規格準拠^{*5}の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

具体的には、雨(1時間の雨量が20mm未満)の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

※4 IPX5/8の防水性能。また、京セラ独自の耐久試験(泡ハンドソープ／泡ボディソープでの手洗い・すすぎの洗浄サイクル試験)を実施。国内メーカー製の泡タイプのハンドソープまたは国内メーカー製の泡タイプのボディソープをご使用ください。キッチン用・業務用・無添加のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープでは洗浄しないでください。

- ・すすぎは水道水(30℃程度のぬるま湯)による弱めの流水で、本製品についた泡をしっかりと落としてください。洗浄後は乾いた柔らかい布に電話機を軽く当てて、しっかりと水抜きをしてください。
- ・ご使用の際は、キャップ類は確実に取り付けてください。種類の異なる泡ハンドソープ・泡ボディソープは混ぜないでください。アルカリ性洗剤で洗浄した場合、機能上の問題はありますが、浴室などの高温環境下や洗剤が温かい状態では変色するおそれがあります。本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡ハンドソープ／泡ボディソープで洗えることを保証するものではありません。また、無故障を保証するものではありません。

※5 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7: Shock Procedure IVに準拠した落下試験(高さ1.22mから合板(ラワン材)に本製品を26方向で落下させる)を実施しています。日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 国内メーカー製の泡タイプのハンドソープまたは国内メーカー製の泡タイプのボディソープをご使用ください。キッチン用・業務用・無添加のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープでは洗浄しないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。

- 手や本製品が濡れている状態でのカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。スピーカー(全穴部)・送話口(マイク)(穴部)などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂場、台所など、湿気が多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- スピーカー(全穴部)・送話口(マイク)(穴部)などに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きをしてください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。

● お風呂での利用について

IPX5/8の防水性能。また、京セラ独自にお風呂の温度程度のお湯(43℃以下)が本製品にかかっても故障しないことを試験しています。

- ・ ご使用の際は、キャップ類は確実に取り付けてください。
- ・ お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
浴室温度40℃以下、湿度99%以下で連続使用1時間以内とし、その後必ず水抜き・乾燥を行ってください(▶P.83)。なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
- ・ 浴槽のお湯に浸けないでください。温泉や入浴剤等の入ったお湯に浸けないでください。万が一かかった場合、またシャンプーや石鹸などが付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- ・ 急激な温度変化により、パッキン部の収縮が起こるため、浸水のおそれがありますので、常温に戻してから浴室に持ち込んでください。
- ・ ご使用後は、水道水で洗い流し、乾いた柔らかい布でふき、浴室から取り出しておいてください。
- ・ 浴室の電波環境によっては、ご使用にできない機能があります。

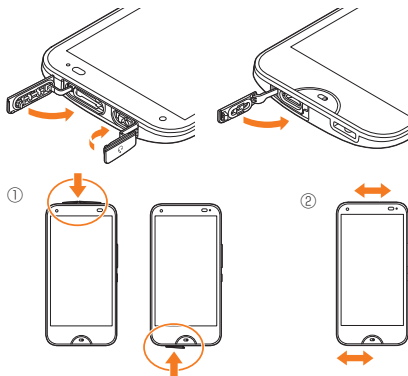
● イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーについて

- ・ イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーはしっかりと閉じ、完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



● 水以外が付着した場合

- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。汚れた場合、ブラシなどは使用せず、イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

● 水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて

- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

- ・防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。

●スピーカー(全穴部)／送話口(マイク)(穴部)のメッシュ部について

- ・洗浄を繰り返すことによりメッシュ部に泡ハンドソープ／泡ボディソープ成分が残り、目詰まりが発生し、着信音などの鳴動時や送話時の音質が低下するおそれがあります。性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。

●耐熱性について

- ・熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

●衝撃について

- ・本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

充電のときは

充電用機器、周辺機器は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- ・本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。

- ・本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にmicroUSBプラグを接続してください。
- ・濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- ・指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

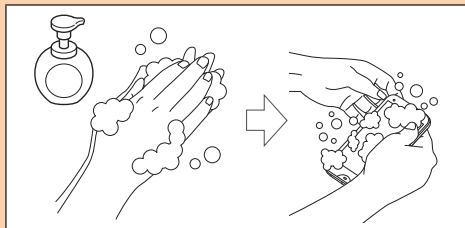
洗浄のしかた

- 市販のアクセサリ商品(端末カバー、ケース、ストラップなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の泡タイプのハンドソープまたは国内メーカー製の泡タイプのボディソープをご使用ください。キッチン用・業務用・無添加のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープでは洗浄しないでください。付着した場合には必ずぐに水で洗い流してください。
- 種類の異なる泡ハンドソープ／泡ボディソープは混ぜないでください。
- 泡ハンドソープ／泡ボディソープ原液を直接付けしないでください。原液が付いた場合には、直ちに水で洗い流してください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときはイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーがしっかり閉じていることを確認し、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- アルカリ性の泡ボディソープは使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 洗浄時の製品傷付き防止のため、装飾品(腕時計、指輪、付け爪など)は外してください。
- 急激な温度変化により本製品内部への浸水のおそれがありますので、本製品が冷え切った状態や温かい状態では洗わないでください。本製品は常温(25℃程度)の状態ですべて洗ってください。

1 本製品の電源を切ります。

2 手を洗って水分を拭き取ってください。次に泡ハンドソープ／泡ボディソープを手のひらに乗せてから本製品を持ち、表面と背面が同じ頻度でごすられるように洗ってください。



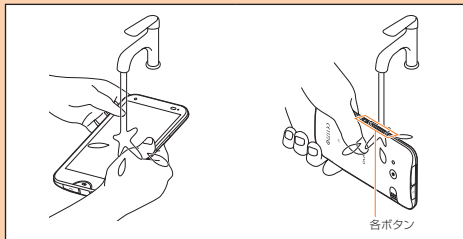
3 表／背面、各ボタンを泡ハンドソープ／泡ボディソープの泡が完全になくなるまですすぎます。

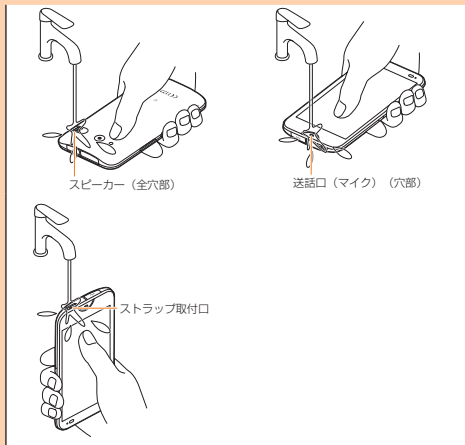
※ やや弱めの流水(6リットル／分以下)で、蛇口やシャワーより約5cm離れた位置で水道水(30℃程度のぬるま湯)ですすいでください。

次にスピーカー(全穴部)、送話口(マイク)(穴部)、ストラップ取付口をさらに弱めの流水(3リットル／分程度)で洗い流します。

※ スピーカー(全穴部)は約30秒、送話口(マイク)(穴部)、ストラップ取付口は約20秒洗い流します。

泡ハンドソープ／泡ボディソープの泡が残っていると故障の原因になりますので、泡が残っている場合は、泡がなくなるまでよくすすいでください。





4 「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.83)を参照して水抜きをしてください。

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

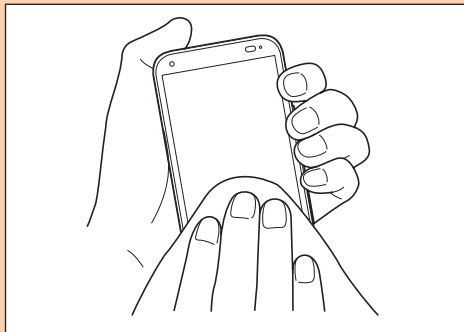
水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、必ずスピーカー（全穴部）・送話口（マイク）（穴部）の水抜きをしてください。

そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

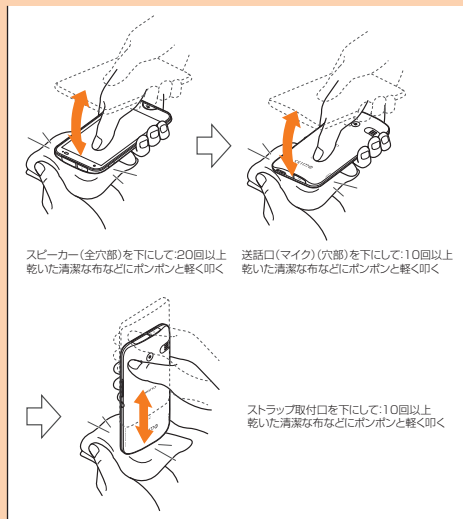
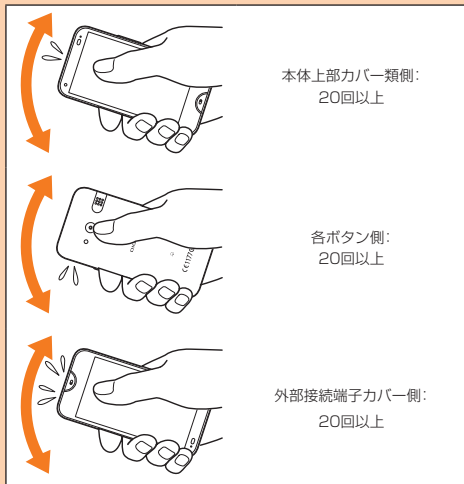
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



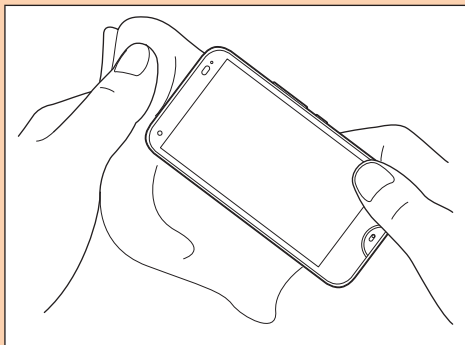
2 振りかたについて

- ① 本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
 ※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
 ※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



- ② 出てきた水分を拭き取ります。
 ※ スピーカー(全穴部)・送話口(マイク)(穴部)、外部接続端子部、イヤホンマイク端子部は特に水が抜けにくいので、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。
- ③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

- 3** 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、スピーカー(全穴部)・送話口(マイク)(穴部)・外部接続端子部・イヤホンマイク端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



- 4** 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。

また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®) 機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでお問い合わせください。



memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

・Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

・無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- ・W52 (5.2GHz帯 / 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48ch)
- ・W53 (5.3GHz帯 / 52, 54, 56, 58, 60, 62, 64ch)
- ・W56 (5.6GHz帯 / 100, 102, 104, 106, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 122, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

J52 W52 W53 W56

各種暗証番号／PINコードについて

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、使用時は必ず初期値からお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● 暗証番号

使用例	お留守番電話サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● PINコード

使用例	第三者によるSIMの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、使用時は必ず初期値からお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● ロックNo.（「おサイフケータイロック」）

使用例	「おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるSIMの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が必要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上で使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。

- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】	
GoogleアカウントID	セキュリティ(スタート画面):ロックNo.
@gmail.com	
Googleアカウントパスワード	セキュリティ(スタート画面):パスワード
my UQ mobile ID	セキュリティ(スタート画面):パターン
パスワード	

※ アカウントやパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN (Wi-Fi[®]) 接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモ리카ードをセットしないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可しない」／「許可」をタップしてください。

例: ギャラリーを起動した場合

1 アクセス権限の確認画面→[許可しない]／[許可]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと／機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

1 アプリ一覧→[設定]→[アプリ]

2 アプリを選択→[権限]→機能を選択

■ 機能ごとに設定する場合

1 アプリ一覧→[設定]→[アプリ]

2 [設定]→[アプリの権限]→機能を選択→アプリを選択



memo

- ◎許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっただけの通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

- ・ 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- ・ 本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する

■ ご利用上の注意

- ・ データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ・ 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・ 詳しくは、京セラホームページのサポート情報をご覧ください。
- ・ 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- ・ 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・ ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけ

- ることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ・ ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ ローミング中は、ご利用になれません。
- ・ ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでお問い合わせください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。



memo

- ◎ 利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ ソフトウェア更新/OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.26
	☐(電源ボタン)を着信ランプが点灯するまで長く押ししていますか？	P.27
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.26
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.26
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.26
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	☐(電源ボタン)と▶(音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.28
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.26
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.26
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.27
	SIMが挿入されていますか？	P.22

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.48
	サービスエリア外にいませんか？	P.48
	電源は入っていますか？	P.27
	SIMが挿入されていますか？	P.22
「  」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.48
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.19
	SIM以外のカードが挿入されていますか？	P.21
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.27
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.27
「  」が表示される	SIMが挿入されていますか？	P.22
充電してくださいなど表示された	電池残量がほとんどありません。	P.26
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.26
	・ 充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	P.26
	内蔵電池が寿命になっていませんか？	P.75
	「  」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.48
	使用していないアプリや機能を終了・停止してください。	—

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？ 回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	P.48 —
画面照明が暗い	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	—
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	受話部(レシーバー)が耳に当たるようにしてください。	P.18 P.20
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知がありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	—

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のUQコミュニケーションズのホームページのお客様サポートでご案内しております。

<http://www.uqwimax.jp/support/>

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については端末故障受付センターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。



memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

■ 補修用性能部品について

当社はKYV40本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書(巻末)について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ SIMについて

SIMは、通信事業者からお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、UQスポットまたはUQお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先番号

■ 商品に関するお問い合わせ

UQお客様サポートセンター 一般電話・携帯電話などから
0120-929-818(通話料無料)

受付時間:9:00~21:00 年中無休

- ・ 受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・ IP電話(050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

■ 電話機の修理に関するお問い合わせ

端末故障受付センター 一般電話・携帯電話などから
0120-959-558(通話料無料)

受付時間:9:00~21:00 年中無休

- ・ 受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・ IP電話(050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

■ ホームページからのお問い合わせ

- ・ 機器に関するご相談、お問い合わせ
UQコミュニケーションズ株式会社(<http://www.uqwimax.jp>)

■ 端末補償サービスについて

端末修理サービスおよび盗難・紛失時の補償サービスをご提供します。

サービスの内容については、UQコミュニケーションズのホームページをご参照ください。

<http://www.uqwimax.jp/plan/mobile/option/hosyou/>

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約5.0インチ、約1677万色、TFT全透過型	
	1,280×720ドット(HD)	
質量	約159g	
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約71×142×10.4mm	
内蔵メモリ容量 ^{*1}	ROM:約16GB	RAM:約2GB
連続通話時間	国内	約1,300分
	海外(GSM/ UMTS/LTE)	約830分
連続待受時間	国内	約780時間
	海外(GSM/ UMTS/LTE)	約890時間
連続テザリング時間	約870分	
Wi-Fiテザリング最大接続数	10台	
充電時間 (目安)	共通ACアダプタ05(別売)	約150分
カメラ撮像素子	CMOS	
アウトカメラ有効画素数	約1,300万画素	
インカメラ有効画素数	約500万画素	
無線LAN(Wi-Fi [®])機能	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠	
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格 Ver.4.2準拠 ^{*2}

Bluetooth [®] 機能	出力	Bluetooth [®] 標準規格 Class 1
	通信距離 ^{*3}	見通しの良い状態で10m以内
対応プロファイル・機能 ^{*4}	GATT (Generic Attribute Profile) SPP (Serial Port Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phone Book Access Profile) HID (Human Interface Device Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) PAN-NAP (Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER (Personal Area Networking-User) HOGP (HID over GATT Profile) SCMS-T Bluetooth SSP MAP (Message Access Profile)	

Bluetooth® 機能	対応プロファイル・機能※4	DUN(Dial-Up Networking Profile)※5
	使用周波数帯	2.4GHz帯
連続ワンセグ視聴時間		約12時間

- ※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- ※2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- ※4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のごとで、Bluetooth®標準規格で定められています。
- ※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。

■ 京セラTVアンテナケーブルO4(O4KYHSA)

長さ	約136.4mm
質量	約5g



memo

- ◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以上になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYV40の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.539W/kg※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.447W/kg※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリアケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

-
- 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have

permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.

The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg, and the highest SAR value for this device was 1.83 W/kg*.

As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: <http://www.who.int/peh-emf/en/>

* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity

Product is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.

Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.



輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



ACCESS、CosmoSialは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

(C)2012-2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleドライブ、Googleドライブ ロゴ、Googleマップナビ、Googleマップナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows Vista®/Windows® 7/Windows® 8.1/Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

㊦は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。

iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017
All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM).

- (1) ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- (2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「DIGNO」「スマートソニックレシーバー」は京セラ株式会社の登録商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。

シーン検出技術には株式会社モルフォの「PhotoScouter」を採用しております。「PhotoScouter」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。

HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

その他本文中に記載されている社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

License

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
 - (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
 - (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
- ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
- なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ/電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,

BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

おサイフケータイ[®]対応サービスご 利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ[®]対応サービスについて

1. おサイフケータイ[®]対応サービスとは、おサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
2. おサイフケータイ[®]対応サービスは、おサイフケータイ[®]対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内のデータの取扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ[®]のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。

3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をUQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡いただくか、FeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。

3. FeliCaチップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ[®]対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ[®]対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ[®]対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. UQコミュニケーションズは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ[®]の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ[®]の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ[®]の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書をご確認ください。但し、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ[®]対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。
4. 機種変更や廃棄等によりおサイフケータイ[®]のご利用を中止される場合には、不正に利用されることを防ぐため、必ずFeliCaチップ内のデータを全て削除してください。なお、かかるデータの削除の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまの通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身のFeliCaチップ内のデータの削除ができなくなることがあります。
なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイロック」を設定すると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。

- ・おサイフケータイ®のロックは、端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→[おサイフケータイ設定]

おサイフケータイ設定画面が表示されます。

2 [おサイフケータイロック]→[次へ]

3 ロックNo.を入力→[次へ]→[OK]

おサイフケータイ®の機能がロックされ、ステータスバーにが表示されます。

おサイフケータイロックを解除する

1 おサイフケータイ設定画面→[おサイフケータイロック]→[次へ]

2 ロックNo.を入力→[次へ]→[OK]

「おサイフケータイロック」が解除されます。



memo

- ◎「おサイフケータイロック」を設定中に電池が切れると、「おサイフケータイロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後に「おサイフケータイロック」を解除してください。
- ◎ロックNo.について詳しくは、「各種暗証番号／PINコードについて」(▶P.88)をご参照ください。
- ◎ロックNo.を変更するには、おサイフケータイ設定画面→[おサイフケータイロックNo.変更]→現在のロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→もう一度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作します。

<お詫びと訂正>

このたびは、「DIGNO® W」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

取扱説明書におきまして、お詫びいたしますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

●15ページ「緊急警報を利用する」

誤:

緊急警報アプリは、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)を利用することができるアプリです。

正:

緊急警報アプリは、緊急速報メール(緊急地震速報)を利用することができるアプリです。

●45～47ページ「アプリの一覧」のフォルダ構成が変更されましたので、記載を修正させていただきました。

●55ページ「テレビの初期設定をする」／「テレビを起動する」手順 **1**

誤:

アプリ一覧→[エンターテインメント]→[テレビ]

正:

アプリ一覧→[ツール]→[テレビ]

お問い合わせ先番号

■商品に関するお問い合わせ

UQお客様サポートセンター

(一般電話・携帯電話などから)

0120-929-818 (通話料無料)

受付時間: 9:00~21:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話 (050-XXXX-XXXX) からは接続できない場合があります。

■電話機の修理に関するお問い合わせ

端末故障受付センター

(一般電話・携帯電話などから)

0120-959-558 (通話料無料)

受付時間: 9:00~21:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話 (050-XXXX-XXXX) からは接続できない場合があります。

■ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせ

UQ コミュニケーションズ株式会社

<http://www.uqwimax.jp/>



やめましょう、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2017年2月第2版

発売元: UQコミュニケーションズ株式会社

UQモバイル沖縄株式会社

製造元: 京セラ株式会社

KTDA65LAXA- 0217YG